環境経営レポート　2021

（2021/4/1～2022/3/31）

発 行 日：2022/6/30

株式会社 大昭和加工紙業

組織の概要

創　　業　1971 年 9 月 22 日

１．事業社名および代表者名

商　　号　株式会社 大昭和加工紙業

英文商号　Daishowa Paper Converting Co.,Ltd.

代表取締役社長 田中 博邦

２．所在地および連絡先

本社・今泉工場 静岡県富士市今泉 3-16-13

TEL : 0545-52-5488　FAX : 0545-52-5897

比奈工場 静岡県富士市比奈 798

TEL : 0545-52-6211　FAX : 0545-52-6210

URL : http://www.daishowa-kakoshi.co.jp/

３．環境管理責任者氏名

環境管理責任者 ：太田　　武

副環境管理責任者 ：小林隆一郎

今泉工場事務局 ：川久　貴裕

比奈工場事務局 ：佐野　暁洋

４．事業の内容

今泉工場は、家庭・業務用に使用される各種紙容器（紙器・パッケージ）全般と、事務処理、情報処理等に使用されるビジネスフォームの印刷・加工・製造をしています。

比奈工場は、グラビア印刷と医薬品、化粧品等各種外装箱などに用いられる各種板紙の印刷紙・貼合紙などの製造をしています。

５．事業の規模

資 本 金 ： 2 億 3,500 万円

売　　上 ： 31.3 億円

従　業　員　数	2019	2020	2021
本社・今泉工場	69 人	57 人	60 人
比　奈　工　場	45 人	45 人	42 人
計	114 人	102 人	102 人

延べ床総面積
23,290 ㎡
10,715 ㎡

沿　　革

当社のあゆみ

1961 年 8 月　大昭和製紙㈱吉永工場*加工課にてラミネーター操業開始
*現在の日本製紙株式会社富士工場

1970 年 10 月　日本ブロックパック㈱設立

1971 年 9 月　サイトウ紙器㈱設立

1972 年 5 月　サイトウ紙器㈱紙器工場操業開始

1972 年 6 月　サイトウ紙器㈱ストックフォーム印刷工場操業開始

1974 年 3 月　世和加工紙㈱設立

1975 年 1 月　サイトウ紙器㈱が日本ブロックパック㈱を吸収合併

1975 年 3 月　世和加工紙㈱から㈱大昭和加工紙に商号変更

1975 年 4 月　㈱大昭和加工紙が大昭和製紙㈱吉永工場*加工課業務を譲受

1977 年 3 月　サイトウ紙器㈱と㈱大昭和加工紙が合併、㈱大昭和加工紙業に商号変更
（旧２社は、それぞれ今泉工場、比奈工場に改組）

1990 年 6 月　今泉工場にビジネスフォーム印刷工場およびオフセット（紙器・パッケージ）印刷工場を増設

2009 年 5 月　エコアクション 21 認証登録

2012 年 6 月　比奈工場　FSC 認証　取得

2013 年 1 月　今泉工場　フォーム製造部　CTP 製版システム導入

2014 年 5 月　今泉工場　紙器製造部　ドイツ製窓貼機導入

2016 年 7 月　ISO9001 認証登録

2016 年 9 月　今泉工場　紙器製造部　CTP 製版システム導入

2017 年 8 月　比奈工場　グラビア 10 号機改造（6 色から 7 色へ）

2018 年 2 月　エコアクション 21 環境コミュニケーション大賞で優秀賞を受賞

2019 年 5 月　今泉工場　紙器製造部　油性オフセット 5 色印刷機更新

2020 年 10 月　新紙素材「ICB ボード」および ICB ボードを用いた「KAMIDE+CNF」を販売開始

2021 年 11 月　部署名「紙器」「フォーム」「比奈」をそれぞれ「パッケージ」「情報用紙」「機能紙」に改称

企 業 理 念

株式会社 大昭和加工紙業は、紙加工製品の製造・販売事業を通じて、生態系・環境に配慮した企業活動を基本とし、環境保全活動と循環型社会の形成に取り組みます。

環境経営方針

当社は環境経営に継続して取り組み、以下の重点分野を通じ、社会への貢献を目指します。

１．当社の事業活動から生じる環境負荷の低減に向けて、次の項目に取り組みます。

（１）電気・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

（２）廃棄物の削減・リサイクル

（３）節　水

（４）化学物質使用量の削減

２．環境配慮製品の開発・提供を推進します。

３．環境関連法規およびその他の環境関連要求事項を順守します。

４．環境教育を実施し、活動計画に基づき全員参加で取り組みます。

５．環境への取り組みについて、環境経営レポートを作成し公表します。

制定 2008 年 1 月 10 日
改定 2019 年６月 27 日
株式会社 大昭和加工紙業
代表取締役社長 田中博邦

会社方針（2021年）

生き延びることのできる会社であるために

１．社会・環境・経済の動向に関心をもち、持続可能な未来に紙で貢献する。

１．危機感を共有し、基本をもとに柔軟な思考で変化に対応する。

株式会社 大昭和加工紙業 エコアクション２１
環境管理体制および責務

代表者 代表取締役社長 田中博邦	方針の決定。環境経営に対する取り組みを適切に実行するための必要な人員・設備・費用等を適切に準備する。環境管理責任者を任命する。全体の取組状況を評価し、見直しを実施し必要な指示を行う。
環境管理責任者 比奈工場 工場長：太田武	代表者に変わり環境経営システムガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築・運用し、その状況を代表者に報告する。システム全体の構築・運用に責任を持つ。
副環境管理責任者 管理部総務課 課長：小林隆一郎	環境管理責任者を補佐し環境管理システムの適切な運用を推進する。
事務局 今泉工場 技術室 川久貴裕 営業部 機能紙課 佐野暁洋	環境への負荷の把握および評価ならびに環境への取り組みを把握し今後の取り組みを評価。環境法令の取りまとめと法律遵守と評価。環境目標および環境活動計画の策定。環境教育・訓練の年間計画の策定。緊急事態への対応策の策定と定期的な訓練などの実施。環境関連文書を作成し整理および取組に必要な記録を整理する。

今泉工場 （副環境管理責任者） 管理部総務課 課長：小林隆一郎	今泉工場におけるエコアクションの具体的運用・推進と統括
事務部門 営業部 部長：村田敦史	今泉工場における環境法令・関連法令の遵守と教育。効率的な事務所内の目標値管理。
製造部門 今泉工場 工場長代理:芹澤健司 今泉工場　情報用紙課 課長：菅野泰義	製造工程における環境負荷削減の目標値管理と材料歩留の向上。製造部門の活動の推進。
産業廃棄物管理責任者 特別産業廃棄物管理責任者 管理部総務課 課長：小林隆一郎	今泉工場における産業廃棄物の管理・適正な処理・マニフェスト管理。

比奈工場 （環境管理責任者） 工場長：太田武	比奈工場におけるエコアクションの具体的運用・推進と統括
事務部門 営業部　機能紙課 課長：渡井久幸	比奈工場における環境法令・関連法令の遵守と教育。効率的な事務所内の目標値管理。
製造部門 比奈工場　機能紙課 課長：鈴木一覚	製造工程における環境負荷削減の目標値管理と材料歩留の向上。製造部門の活動の推進。
産業廃棄物管理責任者 特別産業廃棄物管理責任者 営業部　機能紙課 佐野暁洋	比奈工場における産業廃棄物の管理・適正な処理・マニフェスト管理。

課題とチャンスの整理

項　目	課　題	チャンス
外部起因	・製品の陳腐化 ・販売競争激化 ・顧客離れ→売上げの減少 ・多品種化、少量発注など顧客要求の変化 ・顧客ニーズの多様化 ・マーケットの縮小 ・原材料費、燃料費の上昇 ・製品のエネルギー効率が悪い	・エコロジー製品の市場投入 ・独自の機能をもつ製品の開発 ・新市場の開拓 ・顧客要求にこたえることによる信頼性の向上 ・顧客満足度の向上 ・マーケティング強化 ・高収益製品へ経営資源を集中 ・省資源・省エネ化の推進
内部起因	・電気の大量使用 ・施設、設備の老朽化 ・人材不足 ・社員の高齢化 ・マニュアルの未整備 ・歩留が低い ・クレーム品の発生	・施設、設備の集約化 ・同上 ・若手社員の育成 ・採用活動の見直し ・マニュアルの整備・教育

環境経営目標（中長期目標 2022 ～ 2024）

目標数値の基準年度を前年度に設定し、今後 3 年間の目標を立てました。
当社製品の主原料である紙について、生産効率や歩留を改善し、エネルギーおよび資源使用効率を向上させ、生産性の向上・コスト削減を目標としています。
また、新製品を拡販し、収益の向上を図ります。

項目		基準年度 2020年度	単位	2022	2023	2024
原紙使用量あたりのエネルギー使用量の削減		1.73	MJ/kg	1.69	1.67	1.65
	今泉工場	2.16	MJ/kg	2.10	2.08	2.05
	比奈工場	1.43	MJ/kg	1.39	1.37	1.36
化学物質使用量の削減・トルエン代替品の検討（廃溶剤発生量の削減、PRTR 化学物質の代替）		19.3	t	対前年比 １%削減	対前年比 １%削減	対前年比 １%削減
廃棄物の削減　損紙発生量の低減（歩留の向上）	原　紙	1,425.8	t	対前年比 0.5%削減	対前年比 0.5%削減	対前年比 0.5%削減
	梱包類	62.8				
水使用量の削減	用　水	60.8	t	対前年比 １%削減	対前年比 １%削減	対前年比 １%削減
	上水道	0.8				
新製品の拡販				年間２件	年間２件	年間２件
FSC認証				拡販に向けて継続	拡販に向けて継続	拡販に向けて継続
緑　化				継続	継続	継続

二酸化炭素排出係数は 0.441 kg-CO2 を使用しています。

環境目標，環境活動計画

（2021年度）

事業所	環境目標	手段	区分	2021									2022			達成度
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
今泉	原紙使用量に対するエネルギー原単位(MJ/kg)の向上 (計画:2.13)	エネルギー効率の向上 エネルギー使用量の節減	計画	1.70	1.98	2.29	2.24	2.62	2.35	2.06	1.79	2.20	2.44	2.26	1.89	×
			実績	2.04	2.16	2.58	2.79	2.87	3.08	2.79	2.37	2.72	3.59	2.87	2.52	2.67
	CO2の削減 電気使用量の削減 （生産性の向上） ●削減目標：計画比13,500kwh	【パッケージ】印刷機の歩留向上 前年比98.2%以上	計画	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	98.2	○
			実績	98.6	98.6	98.3	98.0	98.2	98.8	98.5	98.4	98.2	98.2	97.6	98.2	98.3
		【情報用紙】シングル機の歩留向上 0.26%アップし93.4%に	計画	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	×
			実績	1.56	0.46	0.46	0.26	−0.04	0.06	1.06	−0.39	−0.44	−1.27	−2.04	0.20	−0.01
			計画比	−18.2%			0.9%			6.9%			18.1%			1.2%
			評価	○			×			×			×			×
	損紙発生量の削減 ●削減目標：前年度比4t	損紙発生量の抑制、発生損紙の再利用	計画t	223.0			209.3			206.0			178.9			
			実績	153.2			166.4			186.4			185.0			
			計画比	−31.3%			−20.5%			−9.5%			3.4%			−15.4%
			評価	○			○			○			×			○
	廃溶剤の削減 ●削減目標：前年度比7kg	廃溶剤の削減	計画t	0.00			1.39			0.00			0.00			
			実績	2.45			0.00			0.00			1.60			
			計画比	−			−			−			−			158.4%
			評価	×			○			×			×			×
	水使用量の削減 ●削減目標：前年度比40㎥	地下水・上水道の節約	計画	574			1,927			818			545			
			実績	782			1,916			788			613			
		クーリング,エアコン使用水管理	計画													
			実績													○
			計画比	36.2%			−0.6%			−3.7%			12.5%			6.1%
			評価	×			○			○			×			×
	新規取引の開拓 ●目標：年間2件	新規製品の受注	計画						1						1	
			実績		1											1件
			評価	○						×						×
比奈	原紙使用量に対するエネルギー原単位(MJ/kg)の向上(計画:1.41)	エネルギー効率の向上 エネルギー使用量の節減	計画	1.07	1.02	1.67	1.61	1.66	1.45	1.38	1.26	1.70	1.61	1.37	1.57	○
			実績	1.03	1.02	1.60	1.43	1.62	1.77	1.35	1.33	1.60	1.49	1.44	1.14	1.37
	CO2の削減 電気使用量の削減 （生産性の向上） ●削減目標：計画比42,600kwh	見当印刷の歩留向上 94.8%⇒96%以上	計画	96以上	96以上	96以上	96以上	96以上	96以上	96以上	96以上	96以上	96以上	96以上	96以上	×
			実績	95.1	95.6	94.7	94.9	94.8	93.4	93.0	94.6	94.8	95.9	94.6	96.2	94.8%
		内部不適合品の削減 9件⇒5件	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×
			実績	0	0	1	0	2	0	0	0	0	2	2	0	7
		昼休み消灯	計画													
			実績													○
		吸気ファンのフィルター管理	計画													
			実績													○
		エアコンフィルターの清掃	計画													
			実績													○
		照明不要時の消灯	計画													
			実績													○
		蒸気漏れ補修	計画													
			実績													○
			計画比	0.3%			7.3%			9.1%			5.5%			5.4%
			評価	×			×			×			×			×
	損紙発生量の削減 ●削減目標：前年度比3t	分別の推進、発生損紙の再利用、リサイクル	計画	172.9			133.9			148.7			146.0			
			実績	158.6			138.0			154.6			105.8			
			計画比	−8.3%			3.1%			4.0%			−27.5%			−7.4%
			評価	○			×			×			○			○
	廃溶剤の削減 ●削減目標：前年度比100kg	残インキの再利用	計画	3.50			0.00			7.00			7.30			
			実績	3.30			7.00			3.30			6.70			
			計画比	−6.4%			−			−53.0%			−8.0%			13.9%
			評価	○			×			○			○			×
	水使用量の削減 ●削減目標：前年度比580㎥	地下水使用量の測定	計画	15,032			16,807			13,700			11,622			
			実績	15,372			17,748			14,994			13,683			
		クーリング,エアコン使用水管理	計画													
			実績													○
			計画比	2.3%			5.6%			9.4%			17.7%			8.1%
			評価	×			×			×			×			×
	新規取引の開拓 ●目標：年間2件	新規開発製品の受注	計画						1						1	
			実績						0						0	0件
			評価					×						×		×
	敷地内の緑化推進	森林認証の継続 鉢植え栽培	計画													
			実績													
			評価	○			○			○			○			○

環境目標に係る対策および目標

（2021年度）

事業所	環境目標	手段	達成度	原因	対策・措置	次年度の目標
今泉	原紙使用量に対するエネルギー原単位(MJ/kg)の向上 (計画:2.13)	エネルギー効率の向上 エネルギー使用量の節減	× 2.67	突発故障による休転	印刷機の歩留向上 計画メンテナンスの実施	左記の対策を継続
	CO2の削減 電気使用量の削減 （生産性の向上） ●削減目標：計画比	【パッケージ】印刷機の歩留向上 前年比98.2%以上	○ 98.3%			
		【情報用紙】シングル機の歩留向上 0.26%アップし93.4%に	× −0.01	突発故障による休転 小ロット品が増えロスが多い	老朽箇所の修繕 印刷技術の向上	左記の対策を継続
			1.2% ×	突発故障による休転	印刷機の歩留向上 計画メンテナンスの実施	左記の対策を継続
	損紙発生量の削減 ●削減目標：前年度比4t	損紙発生量の抑制、発生損紙の再利用	−15.4% ○			
	廃溶剤の削減 ●削減目標：前年度比7kg	廃溶剤の削減	158.4% ×	小ロット品の増加 ユーザー品質監査の指摘		
	水使用量の削減 ●削減目標：前年度比40㎥	地下水・上水道の節約	6.1% ×	老朽配管の破損	地下水採取量の監視	左記の対策を継続
	新規取引の開拓 ●目標：年間2件	新規製品の受注	1件 ×	見本品提示の不足、出張の不足	出張回数を増やす 説明会の企画・実施	左記の対策を継続
比奈	原紙使用量に対するエネルギー原単位(MJ/kg)の向上(計画:1.41)	エネルギー効率の向上 エネルギー使用量の節減	○ 1.37			
	CO2の削減 電気使用量の削減 （生産性の向上） ●削減目標：計画比42,600kwh	見当印刷の歩留向上 94.8%⇒96%以上	× 94.8%	段取切替が多く、ロスが増加	同種の製品をまとめて加工。納期の調整。	左記の対策を継続
		内部不適合品の削減 9件⇒5件	7件 ×	確認不足	原紙および仕様書の確認を徹底	左記の対策を継続
			5.4% ×	二交替や残業による使用量増加	就業時間の平準化	左記の対策を継続
	損紙発生量の削減 ●削減目標：前年度比3t	分別の推進、発生損紙の再利用、リサイクル	−7.4% ○			
	廃溶剤の削減 ●削減目標：前年度比100kg	残インキの再利用	13.9% ×	多めのインキ発注→使用期限超過品の廃棄増	インキ使用予測量の算定精度を高める	左記の対策を継続
	水使用量の削減 ●削減目標：前年度比580㎥	地下水使用量の測定 クーリング,エアコン使用水管理	8.1% ×	段取切替が多く、ロール洗浄の使用量が増加	同種の製品をまとめて加工。納期の調整。	左記の対策を継続
	新規取引の開拓 ●目標：年間2件	新規開発製品の受注	0件 ×	見本品の提出→製品化決定までが長期に及ぶ	長期間を見込んだ営業活動を行う	左記の対策を継続

目標の設定と実績
（2021年度）

区分	項　目			単 位	2020年度実績	2021年度目標	2021年度実績	評価(対目標)	
全社	エネルギー使用量	電力		千kwh	1,962.8	1,943.1	1,999.2	×	2.9%
		ガソリン		kL	3.00	2.97	3.76	×	26.4%
		軽油		kL	0.08	0.08	0.00		
		灯油		kL	0.68	0.67	0.52	○	−23.2%
		LPガス		t	15.8	15.6	14.5	○	−6.9%
		都市ガス(GHP等)		km3	28.8	28.6	28.4	○	−0.4%
		蒸気		千t	1.93	1.92	2.07	×	8.3%
	産業廃棄物	紙類	損　紙	t	1,425.8	1,418.7	1,247.9	○	−12.0%
			梱包類	t	62.8	62.4	45.2	○	−27.6%
		金属		t	22.9	22.8	28.6	×	25.5%
		木くず		t	32.4	32.2	24.2	○	−24.8%
		一般廃棄物		t	11.1	11.0	11.0	○	0.0%
		計		t	1,554.9	1,547.2	1,356.9	○	−12.3%
		特別管理廃棄物	廃溶剤	t	19.3	19.2	23.9	×	24.3%
	水使用量		用　水	kL	60.8	60.2	65.2	×	8.2%
			上水道	kL	0.80	0.79	0.73	○	−7.2%
今泉工場	エネルギー使用量	電力		千kwh	1,169.5	1,157.8	1,171.3	×	1.2%
		ガソリン		kL	2.60	2.57	3.43	×	33.7%
		軽油		kL	0.08	0.08	0.00		
		灯油		kL	0.68	0.67	0.52	○	−23.2%
		LPガス		t	10.4	10.3	8.4	○	−18.1%
		都市ガス(GHP等)		km3	28.8	28.6	28.4	○	−0.4%
	産業廃棄物	紙類	損　紙	情報用紙 t	295.5	294.0	254.2	○	−13.5%
				パッケージ t	525.8	523.2	436.8	○	−16.5%
			梱包類	t	39.5	39.3	19.1	○	−51.4%
		金属		t	3.8	3.7	8.7	×	131.6%
		木くず		t	25.7	25.6	18.6	○	−27.1%
		一般廃棄物		t	4.7	4.7	4.7	×	0.5%
		計		t	894.9	890.4	742.0	○	−16.7%
		特別管理廃棄物	廃溶剤	t	1.4	1.4	3.6	×	158.4%
	水使用量		用　水	kL	3.1	3.1	3.4	×	9.5%
			上水道	kL	0.8	0.8	0.7	○	−7.2%
比奈工場	エネルギー使用量	電力使用量		千kwh	793.2	785.3	827.9	×	5.4%
		ガソリン		kL	0.41	0.40	0.32	○	−20.0%
		LPガス		t	5.34	5.29	6.08	×	14.9%
		蒸気		千t	1.93	1.92	2.07	×	8.3%
	産業廃棄物	紙類	損　紙	t	604.6	601.5	556.9	○	−7.4%
			梱包類	t	23.3	23.1	26.1	×	12.8%
		金属		t	19.1	19.0	19.9	×	4.7%
		木くず		t	6.7	6.7	5.6	○	−16.3%
		一般廃棄物		t	6.4	6.4	6.3	○	−0.4%
		計		t	660.1	656.8	614.9	○	−6.4%
		特別管理廃棄物	廃溶剤	t	17.9	17.8	20.3	×	13.9%
	水使用量		用　水	kL	57.7	57.2	61.8	×	8.1%

原紙使用量（原単位）に対するエネルギー量およびCO2排出量実績

ｴﾈﾙｷﾞｰ÷原紙使用量（GJ/t）
CO2排出量÷原紙使用量（(kg-CO2)/t）

【全　　社】

区　分		単　位	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	前年比	評 価
電　　力	使用量	千kwh	2,388	1,963	1,999	1.86%	×
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	23,474	19,294	19,652		
	CO2排出量	t-CO2	1,134.3	932.3	949.6		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	1.405	1.313	1.371	4.42%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	67.89	63.46	66.27		
ガソリン	使用量	kL	3.6	3.0	3.8	25.17%	×
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	123	104	130		
	CO2排出量	t-CO2	8.3	7.0	8.7		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.007	0.007	0.009	28.32%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	0.49	0.47	0.61		
軽　　油	使用量	kL	0.0	0.1	0.0	---	---
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	0	3	0		
	CO2排出量	t-CO2	0.0	0.2	0.0		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.000	0.000	0.000	---	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	0.00	0.01	0.00		
灯　　油	使用量	kL	0.7	0.7	0.5	-24.04%	○
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	26	25	19		
	CO2排出量	t-CO2	1.8	1.7	1.3		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.002	0.002	0.001	-22.13%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	0.11	0.12	0.09		
ＬＰガス	使用量	t	18.7	15.8	14.5	-7.83%	○
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	937	791	729		
	CO2排出量	t-CO2	56.0	47.3	43.6		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.056	0.054	0.051	-5.51%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	3.35	3.22	3.04		
都市ガス	使用量	千Nm3	37.0	28.8	28.4	-1.43%	△
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	1,522	1,185	1,169		
	CO2排出量	t-CO2	77.0	60.0	59.1		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.091	0.081	0.082	1.05%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	4.61	4.08	4.13		
蒸　　気	使用量	千t	2.26	1.93	2.07	7.19%	×
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	4,757	4,066	4,358		
	CO2排出量	t-CO2	340.1	290.7	311.6		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.285	0.277	0.304	9.89%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	20.36	19.79	21.74		
合　　計	総ｴﾈﾙｷﾞｰ量	GJ	30,840	25,468	26,057	2.31%	×
	CO2排出量	t-CO2	1,617.5	1,339.1	1,373.9	2.60%	
	総ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	1.85	1.73	1.82	4.89%	
	総CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	96.8	91.2	95.9	5.18%	
原単位（原紙使用量）		t	16,708	14,690	14,329	-2.46%	

原紙使用量（原単位）に対するエネルギー量およびCO2排出量実績

ｴﾈﾙｷﾞｰ÷原紙使用量（GJ/t）
CO2排出量÷原紙使用量（(kg-CO2)/t）

【今泉工場】

区　分		単　位	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	前年比	評 価
電　　力	使用量	千kwh	1,498	1,170	1,171	0.15%	×
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	14,721	11,496	11,514		
	CO2排出量	t-CO2	711.4	555.5	556.4		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	2.076	1.861	2.321	24.76%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	100.32	89.91	112.18		
ガソリン	使用量	kL	3.0	2.6	3.4	32.34%	×
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	103	90	119		
	CO2排出量	t-CO2	6.9	6.0	8.0		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.014	0.015	0.024	64.85%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	0.97	0.98	1.61		
軽　　油	使用量	kL	0.0	0.1	0.0		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	0	3	0		
	CO2排出量	t-CO2	0.0	0.2	0.0		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.000	0.000	0.000		
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	0.00	0.03	0.00		
灯　　油	使用量	kL	0.7	0.7	0.5	-24.04%	○
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	26	25	19		
	CO2排出量	t-CO2	1.8	1.7	1.3		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.00	0.00	0.00	-5.38%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	0.25	0.27	0.26		
ＬＰガス	使用量	t	13.0	10.4	8.4	-18.90%	△
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	651	523	424		
	CO2排出量	t-CO2	38.9	31.3	25.4		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.092	0.085	0.086	1.03%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	5.49	5.06	5.11		
都市ガス	使用量	千Nm3	37.0	28.8	28.4	-1.43%	△
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	1,522	1,185	1,169		
	CO2排出量	t-CO2	77.0	60.0	59.1		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.215	0.192	0.228	22.79%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	10.86	9.71	0.23		
合　　計	総ｴﾈﾙｷﾞｰ量	GJ	17,023	13,323	13,244	-0.59%	△
	CO2排出量	t-CO2	836	655	650	-0.70%	
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	2.40	2.16	2.67	23.84%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	117.9	106.0	131.1	23.70%	
原単位（原紙使用量）		t	7,091	6,178	4,960	-19.72%	

原紙使用量（原単位）に対するエネルギー量およびCO2排出量実績

ｴﾈﾙｷﾞｰ÷原紙使用量（GJ/t）
CO2排出量÷原紙使用量（(kg-CO2)/t）

【比奈工場】

区　分		単　位	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	前年比	評 価
電　　力	使用量	千kwh	890	793	828	4.37%	△
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	8,753	7,798	8,138		
	CO2排出量	t-CO2	422.9	376.8	393.3		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.910	0.916	0.869	-5.18%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	43.98	44.27	41.97		
ガソリン	使用量	kL	0.59	0.41	0.32	-20.74%	○
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	20	14	11		
	CO2排出量	t-CO2	1.4	0.9	0.7		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.002	0.002	0.001	-28.00%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	0.14	0.11	0.08		
ＬＰガス	使用量	t	5.7	5.3	6.1	13.76%	×
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	286	268	305		
	CO2排出量	t-CO2	17.1	16.0	18.2		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.030	0.031	0.033	3.35%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	1.78	1.88	1.95		
蒸　　気	使用量	千t	2.26	1.93	2.07	7.19%	△
	ｴﾈﾙｷﾞｰ換算	GJ	4,757	4,066	4,358		
	CO2排出量	t-CO2	340.1	290.7	311.6		
	ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	0.495	0.478	0.465	-2.62%	
	CO2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	35.37	34.15	33.25		
合　　計	総ｴﾈﾙｷﾞｰ量	GJ	13,816	12,145	12,812	5.49%	△
	総Co2排出量	t-CO2	782	684	724	5.75%	
	総ｴﾈﾙｷﾞｰ/原単位	GJ/t	1.44	1.43	1.37	-4.16%	
	総Co2排出量/原単位	(kg-CO2)/t	81.3	80.4	77.3	-3.93%	
原単位（原紙使用量）		t	9,617	8,512	9,370	10.08%	

関連法規の状況

法令等の名称	該当条項	主な法的およびその他の要求事項	法基準（値）	当社の対応	確認部署 （責任者）	確認(実施)日	適用される施設・項目
騒音規制法 ※比奈工場：静岡県生活環境の保全等に関する条例	5条 6条 8条	・特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守 ・特定施設（施行令別表第1）の届出 例：空気圧縮機・送風機7.5kw以上 印刷機械 ・特定施設の変更届（騒音が増加しない場合はこの限りではない）	・新設・変更の工事開始30日前 （氏名または名称・所在地・種類・防止方法等） ・規制基準遵守：第4種区域 （敷地境界：AM6 ～AM8＝60dB AM8 ～PM6＝65dB PM6～PM10＝60dB PM10～AM6＝55dB）	今泉工場 ・届出書の確認：2008年12月1日付 比奈工場 ・届出書の確認：2009年3月17日付	総務課長	2021/12/20	空気圧縮機 送風機 印刷機
振動規制法 ※比奈工場：静岡県生活環境の保全等に関する条例	5条 6条	・特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守 ・特定施設（施行令別表第1）の届出	・新設・変更の工事開始30日前 （氏名または名称・所在地・種類・防止方法等） ・規制基準遵守：第2種区域 （敷地境界：AM8～PM8＝65dB PM8～AM8＝60dB）	今泉工場 ・届出書の確認：2008年12月1日付 比奈工場 ・届出書の確認：2009年3月17日付	総務課長	2021/12/20	空気圧縮機 印刷機
廃棄物の処理および清掃に関する法律 （廃棄物処理法）	7条	・一般廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要	・事業系一般廃棄物：事業者が排出する産業廃棄物以外の廃棄物	・廃棄物削減活動の実施 ・指定業者への回収・処分の委託 ・生活廃棄物の条例に基づく排出	総務課長		一般ごみ
	14条 15条 12条 施行令8条	・産業廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要 ・保管基準の遵守（表示、衛生管理等） ・許可業者に委託（一廃は許可証の確認） ・許可業者に委託（産廃は契約） ・多量排出事業者の削減計画提出・報告 ・マニュフェスト発行・返送遅延時の届出 ・マニュフェスト交付状況の報告 ・専ら再生利用を目的の収集・運搬業者に委託	・保管場所表示60cm×60cm以上 （保管場所の旨・廃棄物の種類・管理者または名称および連絡先） ・委託業者との契約・許可証明書 ・廃棄物の種類・数量・運搬の最終目的地・最終処分の所所在地・処分方法・処理能力・契約の有効期間・支払額等 ・管理票交付日からB票・D票は90日以内E票は180日以内に受領 ・管理票は5年間保管義務 ・年1回以上実地確認・記録の保存	・廃棄物削減活動の実施 ・産業廃棄物の表示版設置 自らの産業廃棄物の収集運搬の基準 ・委託業者との契約書・許可証明書の確認 注：許可期限期日 ・委託契約書の記載内容の確認 ・管理票の交付・保管・戻り状況の確認および5年間の保存管理 ・産業廃棄物管理責任者設置 ・産業廃棄物管理票の状況報告を毎年6月末までに県知事宛提出 ・年1回処分業者の実地確認・記録の保存	総務課長	2021/12/20	廃棄物置き場 紙くず、木くず 廃油、廃プラ 段ボール、鉄くず 揮発油類（特別管理産業廃棄物）
自動車リサイクル法	5条	・車のリサイクル	・廃車時、リサイクル料金を負担、使用済となった自動車を引取業者に渡す。	・廃車時、総務課で処置	総務課長	該当なし	車両
家電リサイクル法	2条 6条	・家電のリサイクル	・家電（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）をリサイクルする時、リサイクル料金を負担し、引取り業者に渡す。	・家電廃棄時、総務課で処置	総務課長	該当なし	家電（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）
資源の有効な利用の促進に関する法律	(26～33条)	・パソコンのリサイクル	・パソコンリサイクル時、リサイクル料金を負担し、引取り業者に渡す。	・パソコンをリサイクルする時、総務課で処置。	総務課長	該当なし	パソコン
下水道法	10条 12条	・下水道への放流 ・除害施設の設置	・排水管、排水施設、処理施設およびポンプ施設その他の施設の総体	・排水基準の厳守（下水道はトイレの排水のみ放流）	総務課長	2021/12/20	排水管
浄化槽法 静岡県浄化槽法施工細則	5条 8～10条 11条	・設置または変更時の届出 ・保守点検 ・定期検査	・新設.変更.廃止後30日以内 ・清掃.点検1回/3箇月 ・1回/年指定検査機関	・委託業者の清掃.点検結果書確認	総務課長	2021/12/20	浄化槽
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	2条	・特定化学物質（質量1トン以上、従業員21名以上）	・排出量・移動量に関する届出	・排出量・移動量調査 届出日：比奈工場 2021年6月2日	総務課長	2021/12/20	インキ、溶剤
毒物および劇物取締法	2条	・毒物または劇物の取扱	・毒物または劇物の取扱 （盗難・漏れ、流出の防止） ・毒物または劇物の表示	・使用量の把握と管理	総務課長	2021/12/20	メタノール
消防法 危険物の規制に関する政令	21条の4 31条の4 10条別表	・火災報知機の設置（工場500㎡以上） ・屋内消火栓の設置（工場700㎡以上） ・消防用設備等の点検と報告 ・危険物取扱（指定数量以上）	・防災管理に係る消防計画の作成・届出 ・防災管理点検の実施・報告	・消防設備の定期点検 ・危険物取扱者（乙種４類） ・防火管理者	総務課長	2021/12/20	火災報知機 消火栓 火災報知機 溶剤
労働安全衛生法	11条	安全管理者	・50人以上の労働者を使用する事業場で任命が必要	任命	総務課長		工場
	52条 66条	ストレスチェック 定期健康診断 特殊健康診断 深夜業従事者健康診断	1年以内ごとに１回 6箇月以内ごとに１回 6箇月以内ごとに１回	実施	2022/2/17、25 2021/8/17 2021/8/17	2022/2/17、25 2021/8/17 2021/8/17	
労働安全衛生規則	36条	事業者の責務	・特定業務は公的資格が必要	クレーン運転・フォークリフト運転・玉掛け・紙断裁機の刃部の調整業務・研削といしの取替え等の業務・有機溶剤作業主任者・乾燥設備作業主任者・二級ボイラー技士	総務課長	2021/12/20	クレーン・フォークリフト・玉掛け・紙断裁機・研削といし・有機溶剤・乾燥設備・ボイ
労働安全衛生法施行令	45条	局所排気装置等定期自主検査者	局所排気装置、除じん装置等においては局所排気装置の定期自主検査指針に基づき1年以内ごとに1回、定期的に自主検査	局所排気装置等定期自主検査者が1年ごとに実施	総務課長	2021/12/20	比奈工場
静岡県地下水の採取に関する条例	14条の4	・地下水の採取量	・揚水機の吐出口断面積が14㎠（直径42mm）を超えるもの	・年間総採取量の届出	総務課長	2022/2/2/25	地下水
フロン排出抑制法	16条	・機器を適切に設置し適正な使用環境を維持し確保すること。	全ての第一種特定製品	簡易点検：3箇月に1回以上 7.5kW以上50kW未満のエアコン：3年に1回以上点検	総務課長	2022/1/17	エアコン コンプレッサー

・違反・訴訟の有無、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情は過去3年間ありませんでした。

代表者による全体評価・見直し記録表（2021年度通期）

評 価 日　2022年5月16日

評 価 者　田中博邦　㊞

1．見直し関連情報

	項　目	報告内容（要旨）	代表者全体評価所見欄
1	**環境経営目標および目標達成状況** **■環境目標** 対2020年度実績 ・エネルギー，水 ：１％削減 ・廃棄物 ：0.5%削減	2021年度通期の状況 **■原紙使用量**　※対前年同期比 今泉：1,219t 減 (情報用紙:-639t ﾊﾟｯｹｰｼﾞ :-580t) 比奈：　858t 増 全社：　361t 減（減少率：2.5%） **■環境目標に対する進捗状況** **1.エネルギー使用状況** **(1) 電力使用量** 今泉:1.2%増⇒多品種・小ロット化の影響と考えます。 比奈：5.4%増⇒生産増の影響と考えます。 全社： 2.9%:増加しました。 **(2)都市ガス使用量（今泉のみ）** 0.4%減⇒生産減の影響と考えます。 **(3)蒸気使用量（比奈のみ）** 8.3%増⇒生産増の影響と考えます。 **(4)その他の使用量** 今泉：ガソリン…33.7%増 軽　油……(使用なし) 灯　油……23.2%減 LPガス……18.1%減 比奈：ガソリン…20.0%減 LPガス……14.9%増 **■原単位** 対原紙使用量に対するエネルギー使用量について、今泉工場は前年を上回る一方、比奈工場は前年を下回る結果となりました。 **2.廃棄物の削減** **(1) 産業廃棄物発生量** 今泉：16.7%減。 ・損紙発生量：情報用紙13.5%減 ﾊﾟｯｹｰｼﾞ 16.5%減 ・損紙発生率：情報用紙 7.5%→ 7.7% ﾊﾟｯｹｰｼﾞ 23.4%→26.3% ・木くず発生量：27.1%減⇒輸入紙が減り、流用できない海外産パレットの減少が影響しています。 比奈： 6.4%減。 ・損紙発生量： 7.4%減 ・損紙発生率： 7.1%→5.9% ・金属発生量： 4.7%増 ・木くず発生量：16.3%減	永続できる企業であるためには古い体質を否定した上で新しい変化を取込んでいく、what・Howのくり返しであると考えます。 紙使用量の減少要因として電子化が大きいですが、媒体としての紙が、人間に及ぼす優位性は否定できないと思います。 弊社に於ても原紙使用量は対前年比 比奈工場は増 今泉工場では減となっている コロナ禍に於ても、機能紙は戻りつつありますが、情報用紙が戻るのは極めて難しいと思います。 ロットが小さくなり、小口製品が増える事に依り、加工原単位が悪化するであろうと想定されますが、弊社の主たる原材料は紙でありますので、歩留りの向上、損紙の発生をおさえる事が収益の向上につながると思っています。 社員一同、全員が社会、経済、環境に関心を寄せSDGsを意識していく事が肝要と考えます。

(1/2)

1	**環境経営目標および目標達成状況**	**(2) 廃溶剤発生量** 今泉：158.4％増⇒前年度下半期分の廃インキ処分時期が当期にずれ込んだことが影響しました。 比奈：13.9％増⇒インキの使用期限到来による廃棄の影響と考えます。 **3.水の使用量** 今泉：用　水…… 9.5％増⇒フォーム印刷機ダブルの生産増の影響です。 上水道… 7.2％減 比奈：用　水… 8.1％増⇒生産増の影響と考えます。	
2	**環境活動計画の実施および運営結果**	計画に基づき実施しました。	了承
3	**環境関連法規等の遵守状況**	環境関連法規は遵守しました。	〃
4	**環境教育・環境緊急対応訓練等**	計画に基づき実施しました。	〃
5	**外部からの環境に関する苦情や要望等**	苦情や要望等はありませんでした。	〃
6	**環境経営レポートコミュニケーション**	年３回予定の環境美化活動「小さな親切運動（クリーン作戦）」は、コロナ感染症拡大防止のため、すべて中止になりました。	〃
7	**環境管理体制**	今泉および比奈工場の製造部門担当者を一部変更しました。	〃
8	**その他**	緑化整備に努めました。	継続

2．代表者による全体評価・見直し指示

見直し項目		変更等の必要性		㊒の場合の指示事項等
1	環境方針	有	無	
2	環境目標	有	無	
3	環境活動計画および環境経営システム等	有	無	
4	環境関連法令	有	無	
5	環境経営レポート	有	無	
6	環境管理体制	有	無	
7	その他（　　）	有	無	
全体評価・コメント (環境経営システムの有効性 環境への取組の適切性等)		有効適切と考えます。		

(2/2)